

R RITSUMEIKAN

立命館宇治中学校・高等学校

RITSUMEIKAN UJI JUNIOR and SENIOR HIGH SCHOOL

*Your Link
to the
World*

令和2年度連絡協議会 10月29日(木) 14:14-14:21
事例発表② 海外研修の取り組み

立命館宇治を拠点校とするALネットワーク事務局長
副校長 上杉 兼司



World Wide Learning

With コロナ After コロナ

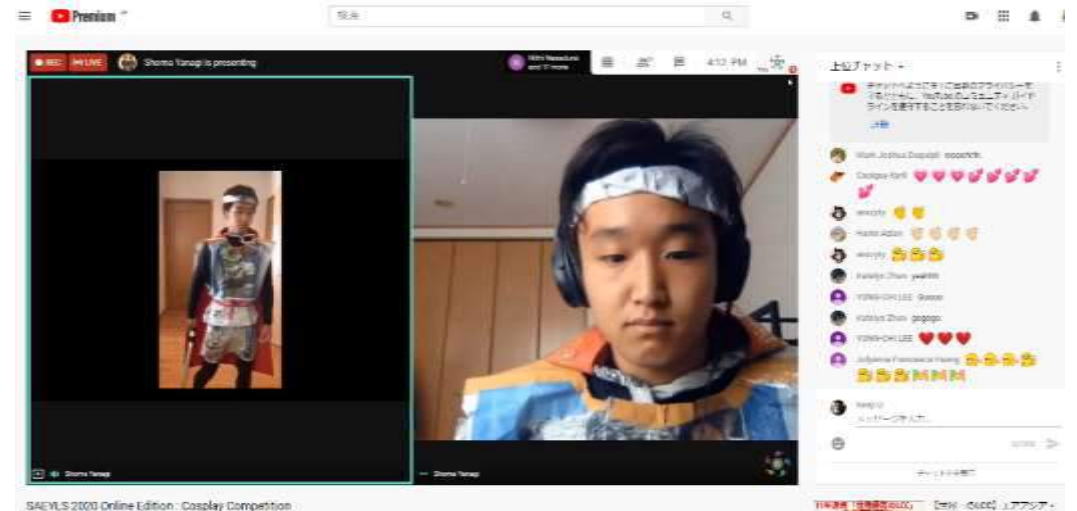
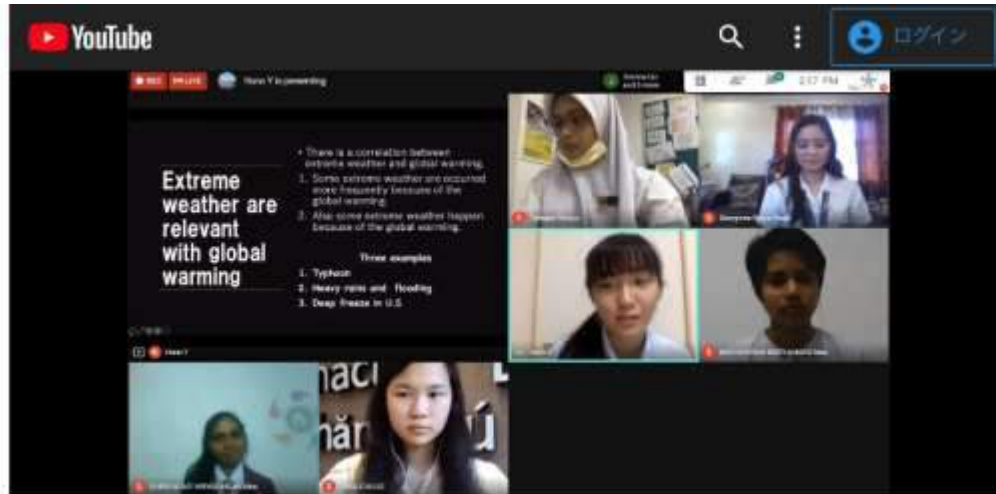
デジタルトランスフォーメーション

今、事例を蓄積して、これからの教育に活かすべき時期

- 4 月 オンライン授業の試行錯誤
ALネットワーク連携校・連携機関と学習会をオンライン開催 4/17～6/4 全8回
- 5 月 反転授業が進むも登校再開
On Line の長所と短所が見えてくる
生徒会活動・課外活動・保護者会もオンライン開催
- 6 月 オンライン国際会議・海外研修準備開始
- 8 月 マレーシアの学校主催オンライン国際会議
INS2.0 ISIF（オンライン国際会議）
オンラインラオス研修
- 9 月 World Youth Meeting（オンライン国際会議）
- 11月 SRサミット FOCUS + Global Youth Fair（本校主催）
国内参加校 52校、オブザーブ校 5校 + GYF（オンライン国際会議）海外参加申込学校 6校 予定

Sri Aman Environmental and English Youth Leadership Online Summit 2020 マレーシアの連携校主催国際会議オンライン参加

- ・ 3部構成 ポエトリーコンペティション・コスプレコンペティション・フォーラム
 - “自然の叫び”を詩にして朗読 ・ 再生可能な素材を使ってヒーローを作り、なぜそのヒーローなのかをプレゼン
- ・ それぞれの発表者と司会のみがGoogle Meetに接続し、他のメンバーはストリーミング配信視聴
 - 少人数で確実に議論できるようにと考えられた（ネットワークが弱くても全体に影響が出ないように接続限定）
- ・ コンペティション発表は事前作成ビデオ 本人からの解説・審査コメント双方向リアルタイムで
- ・ フォーラムの発表と議論はオンライン



WYM実行委員会・学校法人立命館・学校法人日本福祉大学主催

World Youth Meeting (WYM) 2020 On-Line

- ・大会テーマに沿って、海外校と2校協働で課外解決の提案プレゼンテーションを作成し発表する
- ・大会の数か月前からオンラインで2校の生徒が議論を重ねる
アンケート調査やインタビューなどの調査も行う
大会直前1週間は対面で最後の仕上げ → 今年はすべてオンライン
- ・3つのバーチャル会場の上位作品を2日目に共有し、高評を共有
- ・オンラインだからこそ講演が充実・文化交流・Café Talkを入れたのが大好評(一見無駄な時間が重要)



ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修

コロナ禍でも生徒の経験を継続させたい
現地支援を途絶えさせてはいけない
一方的な思いや要求で現地を混乱させてはいけない

生徒はいないが現地スタッフは生徒がいるように動く
短時間でコアな部分を効率よく・密にならずに

市川高等学校・名城大学附属高等学校・青翔開智高等学校・福岡雙葉高等学校
宮崎県立飯野高等学校，宮崎県立宮崎大宮高等学校，立命館宇治高等学校
7校 生徒49名参加

ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修

事前研修 8月17日（月）	オリエンテーション	国内の参加者全員で集まり、自己紹介！事前学習の発表と、簡単なラオス語をみんなで覚えて、少しでも海外研修中に使えるようになりましょう！
海外研修DAY 1 8月18日（火）	現地の高校生との 交流・市場探検	同世代のラオスの高校生と異文化コミュニケーションにチャレンジ！ そのあと、ラオス文化をもっと知るために、ラオス最大級の市場（いちば）へGO！
海外研修DAY 2 8月19日（水）	農村訪問・現地の 中学生交流	この日は農村へお邪魔します。農村の伝統文化、伝統産業に従事者から学びます。そして、農村の生活様式を学ばせて頂くために、農村のお宅も訪問予定です。
海外研修DAY 3 8月21日（金）	コーヒー農家訪問・ 現地の日本人訪問	みなさんはラオスはコーヒーで有名なことを知っていましたか？きっと多くのみなさんは初耳だと思います。ラオスには有名なコーヒー産地があります。産地へ行き、コーヒー農家に会いましょう。
事後研修 9月4日（金）	振り返り	ここまでの学びを、9月のどこかで集まり、振り返りをし、今後のそれぞれの活動につなげましょう。

ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修 事前研修

スケジュール 事前研修 8月17日（月）

日本時間	場所	内容	学びのポイント	言語	形式
11:00	日本	オープニング	・ラオス語で自分の名前を言うことができる ・研修の趣旨がわかる	日本語	全体
11:20	日本	プロジェクト紹介	・立命館宇治高等学校IMコース3年生が実施しているプロジェクトの内容を理解する	日本語	全体
11:40	日本	Kahootの説明	・次の日に使用するツール「Kahoot」が使えるようになる	日本語	全体
11:55	日本	事前学習の発表	・自分が調べたことを他者へ発表すること、他者から教えてもらうこと、また質疑応答をとおして、ラオスの知識や新たな問いが増えることを楽しむ	日本語	グループ
12:30	日本	2日目の活動の紹介	・どこで、だれに会うのかを知る	日本語	全体
12:45	日本	Jamboardの説明	・次の日以降に使用するツール「Jamboard」が使えるようになる	日本語	全体
12:55	日本	まとめ	・研修後にすること、明日することが分かる	日本語	全体
13:00	日本	終了	—	—	—

ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修 現地1日目

スケジュール 海外研修DAY1 8月18日（火）

日本時間	場所	内容	学びのポイント	言語	形式
11:00	日本	オープニング	・ラオス語で「いくらですか？」が言えるようになる ・本日の流れを理解する	日本語	全体
11:10	ラオス	ラオスへGO!	・ラオスの●●文化を知る（●●はお楽しみ!）	日本語	全体
11:30	ラオス	同世代と交流しよう!	・同世代の高校生「と」交流を楽しみ、相互に お互いの文化を学ぶ	日本語	全体
12:05	ラオス	ラオス最大級の市場探検	・ラオスの文化と歴史の理解を深める	日本語	全体
12:35	ラオス	現地の方々とお別れ		英語	全体
12:40	日本	振り返り	・学びを振り返り、何を新たに感じ、学び、どのような問いを生まれたかを言語化し、他者に共有する。共有から新たな気づきを得る	日本語	グループ
12:55	日本	まとめ	・研修後にすること、明日することが分かる	日本語	全体
13:00	日本	終了	—	—	—

ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修 現地1日目

- ・ いきなり食堂からの中継で開始。食堂から、ラオスの街の今を歩きながら坂雲寮へ。
中継はテレビ番組の現地レポートを見ているように演出・テレビとの大きな違いは双方向
- ・ 支援している高校生とは、事前に準備したクイズ（Kahootを使用）や質問交換などで交流。
- ・ 市場では、川魚専門店、豚肉専門店から宝石店まで様々なお店が混然となっている雰囲気を知る。
フランスパン山積のお店から、フランスの植民地であったことを知る。
- ・ JamBoardを使って、話しそびれた質問や感想、気づきを共有

The JamBoard workspace contains the following content:

- 7班** (Class 7)
- 学び・気づき** (Learning & Realization)
 - ラオスには軍隊、競争があることを知った。同僚の活躍を見て、こんなに頑張るんだと驚いた。
 - ラオ・トワン、フオ・ルム、フオ・スーンの3つの民族が暮らすことを学んだ。
 - シンというおしゃべりな伝統など、自然豊かな文化を知れた。
 - かつてはフランスの植民地だったことやベトナム戦争など、ラオスの歴史的背景を学んだ。
 - ラオスの国旗は、場所(地形)によって違うことがわかった。
- 感想** (Comments)
 - Waka, Compass, Laminについて知れて、とても勉強になりました。高校生でも世界の最上層にいる人がいることがよく分かったことに気づきました。
 - ワオスの主食であるもち米を使つた料理を作ってみて、びっくりしました。
 - 同じ高校生で進んだ国語の授業や、教育支援をしているチームがあることを知ることができて、刺激を受けた。
 - 路上演習に携わる会社があることを知ることができた。
 - 華やかな服装で、仲良く話しかけてくれて、お礼を言ってくれた人に出会えたことがとても嬉しかった。
- 問い** (Questions)
 - compassのパンフやポスター作りで勉強していること。
 - ワオスのコーヒーを多くのお店で売ってもらうために勉強していること。
 - どのようにワオスの人と関係を築いていくのかを教えてください。
 - ワオスの伝統的な名前は何だろうか。
- コーヒー豆の生産** (Coffee Bean Production)
 - 路上演習に携わる会社があることを知ることができた。

ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修 現地2日目

スケジュール 8月19日（水）

日本時間	場所	内容	学びのポイント	言語	形式
11:00	日本	オープニング	・ラオス語で「ありがとう」が言えるようになる ・本日の流れを理解する	日本語	全体
11:05	ラオス	質問タイム	・前の日に生まれた問いについて積極的に現地の日本人スタッフへ質問し、新たな学びを得る	日本語	全体
11:15	ラオス	竹細工職人を訪問	・竹細工職人の暮らし、伝統工芸の重要性について知る	日本語	全体
11:35	ラオス	村を歩いてみよう	・村の生活様式を知り、自分の生活様式と比較し、世界にはいろいろな生活様式が存在することを知る	日本語	全体
12:00	ラオス	農村の子どもたちと交流/ 先生へインタビュー	・農村の中学生の子たち「と」交流を楽しむ ・中学校の先生から現地の教育事情について知る	英語	全体
12:35	ラオス	現地の方々とお別れ		英語	全体
12:40	日本	振り返り	・学びを振り返り、何を新たに感じ、学び、どのような問いを生まれたかを言語化し、他者に共有する。共有から新たな気付きを得る	日本語	グループ
12:55	日本	まとめ	・研修後にすること、明日することが分かる	日本語	全体
13:00	日本	終了	—	—	—

ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修 現地2日目

- ・竹細工職人

- 伝統工芸の重要性
 - 新しい製品づくりの重要性
 - 販路確保の重要性

- ・村の様子

- 町と違った景観
 - 洪水被害が多い
 - 家は手作り、何年もかけて完成



- ・中学校訪問

- クレヨンしんちゃんを知っているのに驚き
 - 努力家・帰宅後は家の手伝い
 - 夢を持って勉強していて、学ぶ喜びがある
 - 農村部では教員が不足
 - 勉強したくても高校に行けない現実

ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修 現地3日目

スケジュール 海外研修 DAY3 8月21日（金）

日本時間	場所	内容	学びのポイント	言語	形式
11:00	日本	オープニング	・ラオス語で「さようなら」が言えるようになる ・本日の流れを理解する	日本語	全体
11:05	ラオス	質問タイム	・前の日に生まれた問いについて積極的に現地の日本人スタッフへ質問し、新たな学びを得る	日本語	全体
11:10	ラオス	コーヒー農家に会いに行こう！	・コーヒー農家としてのラオスコーヒーや有機栽培への想いを知る	英語	全体
11:50	ラオス	こんなところに日本人！	・ラオスのような異国で働くことの楽しさや難しさを知り、自分の進路の視野を広げる	日本語	全体
12:15	ラオス	Jai Caféへ訪問	・ラオスコーヒーといえば、Jai Café（カフェ）のオーナー、Mr. Tao。彼の視点からラオスコーヒーや有機栽培への想いを知る	英語	全体
12:35	ラオス	現地の方々とお別れ		英語	全体
12:40	日本	振り返り	・学びを振り返り、何を新たに感じ、学び、どのような問いを生まれたかを言語化し、他者に共有する。共有から新たな気づきを得る	日本語	グループ
12:55	日本	まとめ	・事後研修について理解する	日本語	全体
13:00	日本	終了	—	—	—

ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修 現地3日目

- ・ コーヒー農家Samboonさん

品質高いコーヒーを作るのに意欲。片言でも英語が話せることが販路拡大の鍵になった。

いくつかの品種を混栽で、病害虫に強くなり、良いコーヒーが採れる。

農園の周りにシェードツリーといわれる木やつる性植物で覆うことで、霜や風の害を防ぐ。

- ・ ラオスの人や環境にひかれて暮らす日本人

ラオスの方が自立できるような支援 技術支援だけではダメ → 販路がなければ売れない＝技術定着しない



ALネットワーク校・連携企業

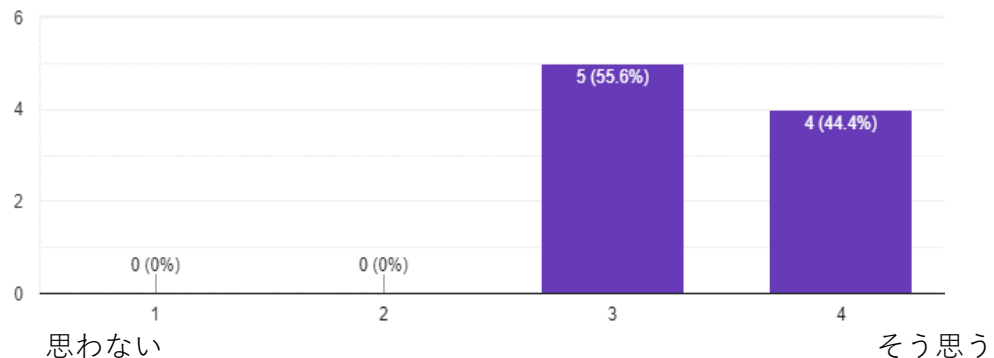
On-Line Laos 研修 分析データ(集計中)

- ・満足度4.5/5で高評価・「臨場感」「新たな知識の習得」, 「複数校からの刺激」に高評価
- ・基本態度、自立心、チームワーク、情報収集、思考力、表現力、コラボレーション力、自己管理能力
8カテゴリーそれぞれにいくつかの質問。

チームワーク、コラボレーションとともに、思考力や情報収集力がやや低い傾向（下図比較）
お客様になりがちな生徒がややでてしまうことが課題

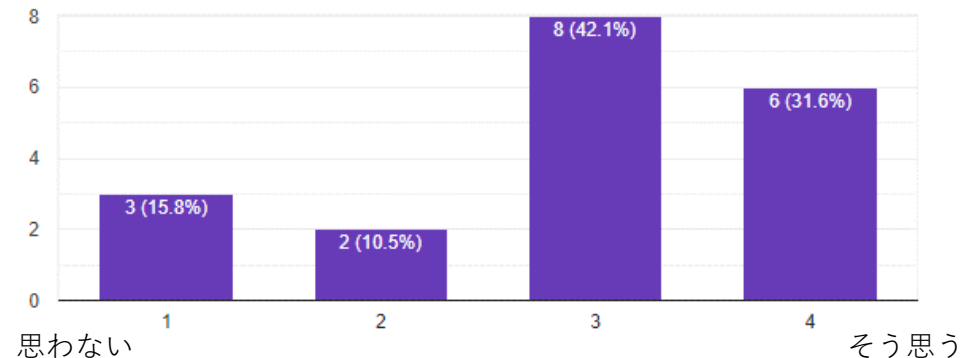
VII.コラボレーション力 3) 相手の話を熱心に聞き、相手の言いたいことを引き出すことを心がけた

現地に行った場合（2019）



VII.コラボレーション力 3) 相手の話を熱心に聞き、相手の言いたいことを引き出すことを心がけた

オンライン（2020）



ALネットワーク校・連携企業

On-Line Laos 研修 参加者意見

- ・「発展途上国について知れて、世界についてさらに興味が湧いたし、もっと知りたいと思った」
- ・「将来の留学先の選択肢としてラオスを入れたい」
- ・「今までは漠然とアフリカのことを考えていたが、アジアにも支援を必要としている国があることを知りアジアの国の支援をすることも視野に入れたい」
- ・「ラオスと自分の地域の共通点や相違点を見つけ、自分の地域を見つめ直し、地域の発展に生かしたい」という意見のように、ローカルな視点で考えられている参加者も。

今回の学びがそれぞれのネクスト・ステップへ繋がることを心より願います

On-Line の長所・短所

- ・ 移動費用や移動時間がかからない（機会増）
- ・ 参加者の数を増やせる（限界あり）
- ・ 多様な参加者を募れる
- ・ 講演者も参加しやすい（時間・遠隔地）
- ・ 短時間なら集中
- ・ 別のツールを組み合わせ活用しやすい（全員スマホ化PCの前）
- ・ 事故や病気のリスクがなく引率負担が減る
- ・ 空気感が伝わりにくい
- ・ 全体が見えにくい
- ・ 相手の反応がわかりにくい
- ・ 休み時間や食事時間の会話を持てない
- ・ 現地のネット環境や時差
- ・ 受講側は長時間の集中が難しい
- ・ 視聴者になりやすい（その場だけの体験）
- ・ 双方向でのやり取りには限界



今後に向けて

- ・すべてオンラインの場合は、オフライン以上に・・・

事前学習の強化、質問事項のシミュレーションを行う

学んだことの言語化、振り返りの充実が必要

参加者同士のコミュニケーションをとれる交流の場を意識的に増やすことが必要

機会を増やし体験できる生徒数を増やす

- ・デジタルトランスフォーメーション オンラインとオフラインの融合を意識し・・・

例えば 事前研修や事後研修はオンライン、海外研修はオフラインで実際に対面

オフライン中心の時も、オンラインツールの活用で計画や意見、振り返りを共有

- ・後半の日程

オンライン開催 授業研究会講演会 + 運営指導委員会 (10/27)

SRサミットFOCUS + Global Youth Forum

フィリピン研修 (12月・3月)

WWL研究発表会 + 運営指導委員会

ラオス研修第2回 (12月)

などを計画

R RITSUMEIKAN

立命館宇治中学校・高等学校



Learning

Expression

Life

学んだぶんだけ
世界が近くなる

ありがとうございました



World Wide Learning

Your Link to the World